

事業報告
決算報告書

(第34期)

自 平成24年 4月 1日
至 平成25年 3月 31日

株式会社 札幌花き地方卸売市場
札幌市白石区流通センター7丁目3番5号

平成24年度 事業報告書

平成24年度（第34期）の当社の事業活動の概要をご報告いたします。

1 会社の現況に関する事項

(1) 事業の経過およびその成果

平成24年度のおが国の経済は、東日本大震災からの復興需要等による夏場にかけての回復の動きの後、欧州債務危機による世界経済の減速の影響を受けながらも、年明けには「緊急経済対策」の政策効果等により円高是正や株価上昇が進み、今後、緩やかに回復していくものと期待されております。

北海道経済は、概ね横ばい圏内の動きとなっているものの、観光や個人消費が堅調に推移しており、公共投資も下げ止まりの動きが見受けられ、緩やかに持ち直しの動きがみられるようになりました。しかしこれは、一時的な要因で押し上げられた部分が大きく、厳しい経済環境は変わらない状況にあります。

このような経済状況の下で、平成24年度の取扱高は、数量で1億1,598万本(前年度1億1,897万本)、金額においては84億5,605万円(前年度89億494万円)となり、数量で前年比2.5%減、金額で5%減となる取扱実績となりました。

なお、道内の花きを扱う卸売市場の取扱高は、平成24年(暦年)で145億2,394万円、前年比1.7%減であり当市場の取扱は暦年で87億1,067万円となり、60.0%のシェアとなっております。

全国の花き市場の動向では、社団法人日本花き卸売市場協会の発表によると、全国の会員市場(卸売業者130社)の取扱金額は、約3,820億円で、対前年比0.5%増となっておりますが、鉢物は減少傾向が見られます。

市場の運営におきましては、一昨年の市場まつりに引き続き、より多くの一般市民の皆さまを対象にお花に親しんでいただくため、札幌駅前地下歩行空間において「花・ふれあい広場」を開催し、北海道産花きの魅力を積極的にPRするとともに、花に親しむための体験・参加型事業を実施し、2日間の来場者は11,000人を数え、市民の幅広い層の方々に楽しんでもいただきました。

また、このほかの花きの振興、需要喚起の取り組みとしては、北海道花き振興委員会を推進母体として、北海道花き品評会(切花・鉢花)を開催しました。

さらに、幼稚園児を対象とした「お花に親しむ交流会」を鉢花生産団体と協力して行ったほか、小学校3・4年生が生花店の模擬体験をする「ミニさっぽろ」への出展など、卸売業者、仲卸業者、小売団体などと連携し、積極的に花育事業に取り組みました。

新年度についても、業界一体となった消費宣伝活動の一層の充実が重要と考え、更なる情報発信の強化や、道産花きのPRなど、市場活性化に向けた取り組みを進める予定です。

(2) 資金調達についての状況

① 資金調達

当期中において、新たな借入金、株式の発行、補助金の交付などはありません。

② 設備投資

当期中に行った設備投資は、建物で切花棟ひさしテント取付工事で114万円。大型ダクト式暖房機2基で480万円。工具備品として、切花棟吹抜け間仕切りシート57万円です。

(3) 直前三事業年度の財産および損益の状況

区 分	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
売 上 高	133,532 千円	134,603 千円	132,200 千円	128,530 千円
当期純利益	6,277 千円	5,381 千円	6,118 千円	9,095 千円
1株当り当期純利益	15 円 46 銭	13 円 25 銭	15 円 06 銭	22 円 40 銭
総 資 産	733,543 千円	783,527 千円	728,296 千円	725,227 千円

(4) 使用人の状況

従業員数 社員4名（男子2名、女子2名）、パートタイマー2名

2 株式に関する事項

- (1) 発行する株式の総数 500,000株
(2) 発行済み株式の総数 406,000株
(3) 当期末株主数 5名
(4) 株 主

株 主 名	持 株 数	株式割合
札 幌 市	204,000 株	50.25 %
札幌花き園芸(株)	164,600 株	40.54 %
北海道植物(株)	19,000 株	4.68 %
(株)北海道銀行	16,000 株	3.94 %
はまなす花き(株)	2,400 株	0.59 %
計	406,000 株	100.00 %

3 会社役員に関する状況

(平成 25 年 3 月 31 日現在)

役 職	氏 名
代表取締役社長	秋 元 克 広
専務取締役	山 本 正 博
取 締 役	川 畑 恵
取 締 役	綱 木 孝 夫
取 締 役	村 田 長 市
取 締 役	山 田 紀 雄
取 締 役	佐 藤 亮 二
取 締 役	田 嶋 久 嗣
監 査 役	宮 原 龍 次
監 査 役	木 村 雅 樹

以上、平成 24 年度の会社の事業活動の概要をご報告いたしました。今後とも、全力をあげて市場運営に取り組んでまいりますので、関係各位の特段のご指導、ご支援を賜りますようお願い申しあげまして事業報告といたします。

平成 25 年 6 月 24 日

株式会社札幌花き地方卸売市場
代表取締役社長 秋元 克広

貸借対照表

平成25年3月31日現在

(単位：円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
【流動資産】	【 207,401,567 】	【流動負債】	【 114,020,706 】
現金	80,000	未払金	9,053,211
預金	194,812,116	未払法人税等	4,220,500
立替金	1,012,770	未払消費税	2,347,500
前払費用	2,000,495	前受金	65,000
未収収益	2,250	預り金	392,386
未収入金	9,503,439	精算代金預り金	96,474,925
貸倒引当金	△ 9,503	賞与引当金	1,467,184
【固定資産】	【 517,825,699 】	【固定負債】	【 46,725,618 】
(有形固定資産)	(410,905,169)	長期借入金	0
建物	182,033,844	預り保証金	40,590,000
構築物	4,960,964	退職給付引当金	6,135,618
工具器具備品	2,164,361		
土地	221,746,000	負債合計	160,746,324
(無形固定資産)	(822,530)	純資産の部	
電話加入権	248,311	科目	金額
ソフトウェア料	574,219	【株主資本】	【 564,480,942 】
(投資その他の資産)	(106,098,000)	資本金	470,000,000
投資有価証券	55,000,000	(利益剰余金)	(94,480,942)
保険積立金	8,000	その他利益剰余金	94,480,942
取引保証積立金	36,090,000	別途積立金	40,000,000
修繕積立金	15,000,000	繰越利益剰余金	54,480,942
		純資産合計	564,480,942
資産合計	725,227,266	負債・純資産合計	725,227,266

損 益 計 算 書

自平成24年4月1日

至平成25年3月31日

(単位：円)

科 目	金	額
【 売 上 高 】		
施設賃貸収入	101,962,419	
売上高割使用料	46,508,243	
面積割使用料	37,814,328	
関連店舗使用料	17,639,848	
精算業務収入	23,722,271	
駐車管理収入	2,845,000	128,529,690
売上総利益金額		128,529,690
【販売費および一般管理費】		116,055,794
営業利益金額		12,473,896
【 営 業 外 収 益 】		
受取利息	295,991	
雑収入	2,315,176	2,611,167
【 営 業 外 費 用 】		
支払利息割引料	0	
賞与引当金繰入	1,467,184	1,467,184
経常利益金額		13,617,879
【 特 別 利 益 】		
貸倒引当金戻入益	10,579	
賞与引当金戻入	1,459,032	
退職給付引当金戻入	0	1,469,611
【 特 別 損 失 】		
固定資産除却損	0	0
税引前当期純利益		15,087,490
法人税、住民税及び事業税		5,992,589
当期純利益		9,094,901

株主資本等変動計算書

自平成24年4月1日

至平成25年3月31日

(単位：円)

	株 主 資 本				純資産合計
	資 本 金	利 益 剰 余 金		株主資本合計	
		その他利益剰余金			
		別途積立金	繰越利益剰余金		
前 期 末 残 高	470,000,000	40,000,000	45,386,041	555,386,041	555,386,041
当 期 変 動 額					
別途積立金の積立		0		0	
当 期 純 利 益			9,094,901	9,094,901	9,094,901
当 期 変 動 額 合 計		0	9,094,901	9,094,901	9,094,901
当 期 末 残 高	470,000,000	40,000,000	54,480,942	564,480,942	564,480,942

上記のとおりご報告申し上げます。

株式会社 札幌花き地方卸売市場
代表取締役社長 秋 元 克 広

個別注記事項

- 1 この計算書類は、中小企業の会計に関する指針によって作成しています。
- 2 重要な会計方針に係る事項
 - (1) 棚卸資産の棚卸方法および評価基準
棚卸方法 ----- 実地棚卸
評価基準 ----- 最終仕入原価法
 - (2) 有形固定資産の減価償却方法
法人税法の規定による定率法によっております。但し、平成10年4月以降取得の建物については、定額法によっております。
 - (3) 無形固定資産の減価償却方法
定額法を採用しております。
 - (4) 有形固定資産の減価償却累計額 660,948,006 円
 - (5) 引当金の計上基準
 - ① 貸倒引当金
債権の貸倒れによる損失に備えるため、法人税法の規定にもとづく法定繰入率による繰入限度額を計上しております。
 - ② 退職給付引当金
従業員の退職給付に備えるため、自己都合による退職金の期末要支給額の100%相当額を引当計上しております。
 - (6) 1株当りの当期利益 22円40銭
 - (7) リース取引の処理方法
リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。
 - (8) 消費税の納付税額の計算方法は、原則課税制度によっている。また、その経理処理は税込方式としております。
- 3 株主資本等変動計算書に関する注記
 - (1) 当該事業年度の末日における発行済み株式の総数 406,000株
 - (2) 配当に関する事項
当期中における配当金の支払いはありません。
 - (3) 基準日が当期に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌期となるもの
配当金の支払い予定はありません。